



期限が切れた新型コロナワクチンを接種

8月25日、市内の個別医療機関で7月27日から同月31日までに期限の切れたモデルナ社製BA.4-5型ワクチンを17人に接種していることが分かった。市は、直ちに当該医院に連絡し、接種された方の健康状況を確認するように伝達。8月28日に同医院から、接種された方17人全員と連絡がとれ、体調について確認を行ったが不調等の申し出は今のところないと報告があった。

内容

8月25日、市が接種記録の確認作業を行う中で、市内の個別医療機関でワクチンの有効期限が7月26日となっているモデルナ社製BA.4-5型ワクチン（ロット番号：400089A）を7月27日から31日までの間、50代から90代までの男女17人に接種していることが分かった。

直ちに当該医院に連絡し、有効期限が切れたワクチンを接種したことを伝え、接種された方17人全員に連絡し、体調等を確認するように伝えた。

8月28日、当該医療機関から17人全員と連絡がとれ、不調の申し出はなかったと報告があった。市から今後についても継続的な対応を行うように伝えた。

原因

医療機関において、接種前にワクチンの有効期限の確認を怠ったため、期限が切れていることに気付かなかった。

再発防止策

当該医院には市から口頭でワクチン接種時の有効期限等の確認を徹底するよう指導を行うとともに、市内の新型コロナワクチン接種を行っている医療機関には医師会を通じて、新型コロナワクチン接種に当たり、ワクチンの適切な温度管理等に加え、ワクチンそのものの有効期限についても確認するよう呼びかける。

問い合わせ 新型コロナワクチン対策課

Tel072・737・6020